
憧れた人～出会い、その後～

ふるーつ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

憧れた人へ出会い、その後へ

【NZコード】

N8305E

【作者名】

ふるーつ

【あらすじ】

「ミリックス62巻を読んで、なんか無性に書きたくなった話？」です。妄想100%の裏話です。思いつきりネタばらしな上、原作読んでなければ意味不明だと思います。ご注意下さい。

(前書き)

重ねて注意しますが、『ミックス62巻の妄想裏話』です。ネタバレです。

彼は、瞬間固まつた。

村人に知られてはいけない、父親から受け継いだ役目がばれた
その驚きは確かにあつた。

しかし、目の前にいる少年に対する驚きのほうが、はるかに大き
かつた。

女優だつた母譲りらしい、憎らしいほどに整つた顔はすでに見慣
れている。しかし、それは自分の側だけの話。……「崇拜して
んのね」と友人にからかわれるほどに憧れた、
そこにいたのは工藤新一だつた。

少年のほうは、別段驚いた様子もなく、くすつと笑つた。

「初めまして、あなたが死羅神様しじがみさまだつたんですね。僕は工藤新一、
探偵です」

「し、知つてます。僕、工藤君の大ファンですからー僕、屋田誠人
です！」

死羅神様の衣装をぜんぶ脱ぐのも忘れて、誠人は夢中で彼に駆け
寄つた。

「工藤君が捜査協力してくれるって話は聞いてます！あなたなき
つと、村長と奥さんを殺した犯人を捕まえてくれますね！」

そして、ふたりは山をおりた。もちろん、死羅神様の衣装はちゃ
んと脱ぎ、山小屋に隠して。

あの高校生探偵・工藤新一が強盗殺人を捜査するという話は、す
でに村中に知れ渡り、下山と同時に新一は交番に招かれた。

早速現場に向かおうとする新一を、誠人は思い切つて呼び止めた。

「あ、あの、工藤君！」

「はい？」

「よ、よかつたら、僕にも協力させてもらえませんか？」
「これだけの事を言うのに、ありえないほど息が切れた。」

「引き締めた顔に微笑を浮かべた。

新一

「そうですね、お願ひします。村長一家の一員であるあなたに協力してもらえば、解決も早められるでしょう」

誠人は感激し、文字通りあくせく動いた。……ただ、彼があの惨劇の場のどこに「強盗殺人」の矛盾を見つけ、まったく別の結論にいたつたかは、全くわからなかつた。

思えば、誠人はすでにどこか浮かれていたのかもしれない。あるいはその時点で、彼にもっと張り付き、詳しく状況を聞くべきだつたのかもしれない。

そうすれば、彼が去つたあとで驚愕の真実に打ちのめされ、逆に彼自身をおとしめようなんて考えなかつただろう。

誠人はようやく新一の顔を上げた。……泣きはらした目。しかし、彼はゆっくりと口許をゆるめた。

「……工藤君、あなたはやっぱり、僕が思っていたとおりの探偵です。本当に、申し訳ありませんでした」

そういうて、深々と頭を下げた誠人を背に、5人は歩き出した。

まさか、その後また、厄介な事態が頻発することになるとは思わずに。

(後書き)

なんか新巻読んで、無性に書きたくなりました。最近小説書いてなかつたのもあるけど。

1年前の誠人君の気持ち、めっちゃわかる!とか思いつつ書きました。滅多に見られない新一の表情を見てくれた彼に感謝せねば(泣き顔とか皮肉っぽい顔とか)。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8305e/>

憧れた人～出会い、その後～

2010年10月15日22時59分発行